

令和 3年 8月19日

生駒市教育委員会 様

幼稚園再編に係る地域協議会
(俵口幼稚園区)

再編についての意見書の提出について

生駒市教育委員会は、令和2年10月に「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」(以下「基本的な考え方」という。)に基づき、俵口幼稚園と生駒台幼稚園を統合し、こども園化する再編案を示しました。

これまで、「基本的な考え方」についての市民説明会、意見交換会などで多くのご意見が寄せられています。俵口幼稚園再編に係る地域協議会は、この再編案について、保護者や地域としての意見をとりまとめ、生駒市教育委員会に対して意見書を提出するために、保護者や地域の代表(資料1 意見書提出時委員名簿)により組織されました。

当協議会は、これまでに6回の協議を経て、下記のとおり意見を取りまとめましたので、提出します。

記

1 協議事項

市立幼稚園の園児数は、近年減少が続き、令和2年度の園児数は平成27年度比で43.6%まで減少し、空き教室も目立つようになりました。

このような状況の中、生駒市教育委員会は、「基本的な考え方」で望ましい幼稚園規模を確保し、幼稚園に関する課題に対応するために、俵口幼稚園と生駒台幼稚園を統合し、こども園化する再編案を示しました。当協議会はこの再編案を検討するにあたり、再編の是非を含めて、懸念される課題と解決策を検討するため、地域や保護者から意見を聴取し(資料2 意見聴取の概要、資料3 開催経緯)、以下の点について協議を重ねてきました。

- (1) 再編を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応
- (2) 再編に対する修正案や提案
- (3) 方向性をとりまとめるためのその他の検討事項

2 協議会の意見

幼稚園の再編は、園児や保護者及び地域社会に及ぼす影響が大きいことから、「基本的な考え方」全般についても、当協議会において検討してきました。

その結果、当協議会としましては、以下に記載する理由により、「基本的な考え方」で示された「俵口幼稚園を生駒台幼稚園に統合し俵口幼稚園を廃園とする」との提案に反対し、俵口幼稚園の存続を求めます。

また、将来的に少子化や就労家庭の増加から地域の保育ニーズに対応する必要性があれば俵口幼稚園でのこども園化についても具体的な検討をお願いします。

<存続を求めることとした理由>

①「基本的な考え方」の結論（俵口幼稚園の廃園）に至る前提条件そのものに疑問符がつく項目があります。以下に具体的に示します。

a 2 kmを徒歩可能な距離としていますが、園児では1時間かかることが想定されますことから、この前提に立った評価には疑問符が付きます。

b 1学級あたりの園児数について、20～30人が特に望ましく10～19人では課題があるとなっていますが、その境界人数19、20人で全く正反対の評価とするには疑問符がつきます。

また、少人数の場合、人間関係が固定化されやすくなる傾向にあるとの考えに関してもその根拠が明確になっていません。

c 駐車場につきましては、生駒台幼稚園は住宅街にあり駐車スペースの確保が極めて困難かつ交通規制がなされている一方、俵口幼稚園周辺が、比較的ゆったりしており駐車場の確保が可能という状況にも関わらず、逆の評価になっていることは疑問です。

②俵口幼稚園を存続させるメリット

a 俵口幼稚園は自然の中に位置する貴重な存在で、緑も多く山麓公園にも徒歩でいくことができます。実際に年に数回実施し、自然の木々や生き物に触れる絶好の教育機会が提供されています。

また、園庭も広く大型遊具も整備され、園児の体力作りにも繋がっています。

b 俵口幼稚園は、昭和53年に開園し40年以上もの間、幼稚園、小学校、保護者、地域が力を合わせ、子ども達の育ちのために尽力してきた歴史があります。

スクールボランティアが参加するイベントも数多くあり、地域と園児との交流も盛んに行われ、これが園児と地域社会との大きな接点となり、地域社

会の活性化にも繋がっています。

③俵口幼稚園廃止によるデメリット

a 俵口小学校との連携につきまして、物理的な距離がある以上、現実的には連携不可能であると考えます。

連携ができないとなると、例えば生駒台幼稚園から俵口小学校に進む場合を考えても、親しみのない小学校よりもいつも近くで見ている学校に通う方が安心感があり、そちらに行きたいと園児や保護者が考えるのが自然であり、たちまち俵口小学校の衰退に繋がってしまいます。

b 地域社会との連携に関しまして、上記②bに述べましたスクールボランティアを通じた交流が全く行われなくなり、地域の活性化が損なわれてしまいます。

c 再編は、市としてのまちづくりのビジョンを確立した上で取り組むべきものです。

俵口幼稚園がなくなれば、子育て世帯の新たな流入が減少し、続いて俵口小学校の児童の減少につながり、大人しかいない偏った地域社会が産まれてしまいます。

子ども達の声が聞こえてこない街になるのは寂しい限りです。

④市として取り組むべきと考えること

市の財政状況について当協議会では議論していませんが、生駒市の未来を睨みますと、少なくとも将来を担っていく子ども達に対する教育関係に重点配分を行い、市として強力にその魅力を内外に発信し、子育て世代の流入を図るべく努力をすべきと考えます。

⑤保護者、自治会、その他団体からの意見等

これまで、育友会における意見として存続への強い要望、園区内の自治会からの存続すべきであるという要望、NPO法人からも存続を実現するための提言が提出されるなど、地域住民の多数の声が「存続すべし」となっています。

〔附帯資料〕

当協議会は前述のとおり、「俵口幼稚園の存続」を求めます。当協議会の意見ではありませんが、教育委員会の「基本的な考え方」について、資料2のとおり意見聴取したところ、各項目についての主な意見は以下のとおりです。

①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること

・再編により通園バスの運行が必要となった場合は、利用料金の減額や無償化などの公費負担を検討するとともに、その運行経路については、安全を考慮した上で、できる限り利用者の要望に応えること。

・保育を必要とする保護者の送迎用駐車場を確保し、路上駐車など近隣住民の迷惑にならないよう考慮するとともに、周辺道路の通行規制の見直しなど自治会や関係機関と協議の上、地域の安全確保に努めること。

・徒歩通園を望む保護者の不安を取り除く取組を保育に取り入れること。

②再編の環境変化に伴う園児及び保護者の対応に関すること

・再編の対象となる幼稚園に在籍している園児は、在籍する幼稚園で卒園できるなどの対応を図るとともに、最終年次の園児についても、入園前には情報提供を丁寧に行うなど、保護者が選択できる対策を図ること。

・俵口小学校との連携については、物理的な距離を理由として縮小せず、従前どおり取り組むこと。

・少人数の利点も考えられるため、保育に少人数での取組を積極的に取り入れること。

③幼稚園と地域の関係に関すること

園が地域とともに子育てをする場であることに配慮し、地域との交流について、積極的に取り組むとともに、物理的な距離があることから俵口幼稚園の周辺地域とも園外活動などを通じてつながりを持つこと。

④跡地の利活用に関すること

幼稚園跡地及び施設の利活用については、この地域の活性化を前提に、俵口幼稚園周辺の地域と十分協議した上で、市長部局との連携のもと、市として総合的に検討すること。

その際には、こども園を第一に検討すること。

⑤特別な配慮を要する園児への対応に関すること

- ・きめ細やかな関わりができるように職員を適正に配置すること。
- ・通園等における時間的、経済的な負担について、不利益が生じないよう柔軟に対応すること。

⑥その他

「園児の通園の負担、安全」、「環境変化に伴う園児、保護者への対応」、「特別な配慮を要する園児への対応」などは、当然に考慮されるべきものであるが、併せて、俵口幼稚園周辺地域の活性化についても十分検討すること。

保護者や地域住民の意見の多くが再編案に反対で、俵口幼稚園の存続や待機児童対策として俵口幼稚園でのこども園化を求めるものでした。

また、再編案については、通園における安全面や保護者の負担増、地域や俵口小学校とのつながりの希薄化を懸念する意見が多く出されました。

更に、公立幼稚園として、少人数保育や保護者ニーズに対応する取組の充実を望む声もありました。

資料1

意見書提出時委員名簿

区分	氏名	所属団体・役職等
学識経験者	森本文朗	元学校長
自治会	上田晃	俵口町自治会長
	吉村賢次	西松ヶ丘自治会長
育友会	田中志保	育友会長
	村上昌子	育友会副会長
民生児童委員	中尾初美	民生児童委員
	平田敦子	民生児童委員
学校評議員	奥村勉	学校評議員
	九鬼千恵子	学校評議員
	二宮光司	学校評議員
	細口勝弘	学校評議員
スクールボランティア	河盛啓晏	スクールボランティア
幼稚園	城野奈穂美	俵口幼稚園長
行政	坂谷操	教育こども部次長

事務局

生駒市教育委員会事務局教育こども部こども課

資料 2

意見聴取の概要

1 意見聴取の方法

(1) 俵口幼稚園再編に係る地域協議会参加団体による意見聴取

① 意見聴取票による意見聴取

喜里池自治会、光陽台自治会、俵口自治会、西松ヶ丘自治会

② 参加団体作成のアンケートによる意見聴取

南喜里が丘自治会、俵口幼稚園保護者、未就園児保護者、小学校保護者

(2) 市教育委員会(こども課)参加による意見交換の場による意見聴取

① 俵口自治会

令和3年3月1日(月)午後7時30分

② 西松ヶ丘自治会

令和3年3月14日(日)午前10時

③ NPO 法人市民の輪いこま

令和3年4月16日(金)午後3時

④ 育友会

令和3年6月18日(金)午前9時30分

(3) その他の意見聴取等

① NPO法人市民の輪いこま

② 元西松ヶ丘自治会長2名

「俵口幼稚園の存続を」の声を議題とし、地域協議会で論議することを求める署名 358筆

2 意見聴取の期間

令和3年1月22日(金)(第1回地域協議会)～令和3年8月4日(水)(第5回地域協議会)

3 意見聴取した件数

合計 300 件

意見聴取票による聴取 99 件

参加団体作成のアンケートによる聴取 197件

その他 4 件

資料3

開催経緯

	開催日時	主な協議事項
第1回	令和3年1月22日(金)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本的な考え方」に対するこれまでの意見と課題整理について ・各関係者等からの意見聴取について ・今後のスケジュールについて
第2回	令和3年3月24日(水)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・原案に対する意見の共有と整理について ・原案に対する追加意見について ・原案に対する意見を踏まえた課題の整理について
第3回	令和3年5月11日(火)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園について ・原案に対する追加意見の共有について ・原案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応について
第4回	令和3年7月5日(月)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園化のシミュレーション ・幼稚園再編について意見を出し合う会について ・俵口幼稚園の存続について ・「幼稚園再編・こども園化についての意見書」について
第5回	令和3年8月4日(水)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園再編・こども園化についての意見書」について
第6回	令和3年8月16日(月)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼稚園再編・こども園化についての意見書」について

「幼稚園再編に係る地域協議会について」

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000024420.html>